



宇久中だより2017

佐世保市立宇久中学校 学校通信
(平成30年2月3号)
文責 校長 田雑 健
平成30年2月16日(金)発行

学校教育目標 : ふるさとを愛し、主体的に学習し、自らの判断で正しく行動できる生徒
めざす生徒像 : 素直で心豊かな生徒 ・ 自ら考え、主体的に学ぶ生徒 ・ 強くたくましい生徒
宇久中生徒の5励行 : 心のこもったあいさつをする 授業に集中する 生徒会活動や部活動に励む
大きな声で校歌を歌う 清掃活動に力を入れる

初心忘るるべからず



13日(火)、本校に宇久小6年生の皆さんをお招きして、体験授業を実施しました。

実際の中学校生活を入学より一足先に体験してもらい、不安なく4月からの新生活を迎

えてもらうために毎年実施されているものです。在校生の皆さんも経験したことと思います。

私たちからすれば当たり前の50分授業も、45分に慣れている小学生からすれば長く感じたかもしれませんし、一方、給食については時間が短く感じたかもしれません。授業ごとに指導する先生がかわるなど、他にも6年生から見ると新鮮なことがたくさんあったかもしれません。

午後は保護者の皆さんとともに、説明会に参加してもらいました。資料をもとに話を進めましたが、真剣に聞いてくれていました。

4月から新たな職場や学校での生活が始まるという人は例年たくさんいます。入ってくる人、迎える人お互いに緊張するものですが、ここはやはり以前から居る人が、いろいろなお世話をして新しい人が早く安心して勉強や仕事に取り組めるようにしなければなりません。本校では新2・3年生にお願いしなければなりませんね。

今回の6年生の初々しい姿を見て、今の自分が悪い意味でなれてしまっていないか、改めて、在校生は振り返る機会としましょう。

星の王子さま、再び

9日(金)、東京演劇集団風からお二人、本校を訪ねてくださいました。そう、11月に「星の王子さま」でお世話になった劇団の方です。

公演終了後、各学校から改善すべき点がなかったかを聞き取り、次の公演に備えるための訪問とのことで、1時間余りお話しをしました。

みなさんや地域の方からの感想なども交えてお話ししたのですが、演者・観客一体となった舞台に劇団の方も大変感動していらっしゃいました。「観て楽しむ」だけでなく「演じて楽しむ」、さらに設営や撤去に参加して、「関わって楽しむ」と本当に学ぶことの

多かった公演。今回の訪問を機に改めて、その内容の深さを感じたところでした。



ご協力いただき ありがとうございました

2月13日（火）

中学校体験授業並びに入学説明会

寒い中、6年生の皆さんはよくがんばってくれました。50分授業は長く感じたことでしょう。

保護者の皆様にはご多用な中ご来校いただきありがとうございました。

ご質問などありましたら、遠慮なく中学校までご連絡ください。

（中学校 57-2007）

2月・3月の行事予定

16日（金） 第4回定期テストが始まりました。日頃の学習の成果を発揮

してくれることを期待しています。ご家庭でもお声かけいただければ幸いです。

なお、20日テスト終了後から部活動は再開します。



3月1日（木） 宇久高校卒業式

7日、8日 長崎県公立高校一般入試

14日（水） 本校第71回卒業証書授与式

16日（金） 宇久小学校卒業式

23日（金） 修了式、離任式

座布団一枚！

10日（土）からの3連休、皆様どのように過ごされたでしょうか。私は珍しく出席しなければならない催しもなく、しかもあの寒空だったので、家にこもって過ごしていました。

手元に届いた雑誌をめくっていると、落語家の春風亭昇太さんの言葉を取り扱った記事がありました。昇太さんといえば、某テレビ番組の司会でも有名ですし、何よりそ



の落語には定評があります。どんなことが取り上げているのかと記事を読み、その内容に「ほう、そんな奥深さがあるのか」と納得していたところ、気付いたことが。実は「出典」とされている雑誌を私も持っていたのです。もちろん、読んでいました。けれども、何も引っかかることなく、頭にピン！と来ることもなく、そのまま素通りしていたのです。

先に読んだ記事の筆者がなぜ昇太さんの言葉を取り上げたのかはわかりません。おそらくたくさんの方の文章を読み、その中から、それこそ「ピン！」と来たのでしょう。

人によって、目の付け所によって、同じものを見ていても、見えてくるものが違うのだということに改めて実感した次第です。

3連休は雪、そして週初めもかなりの寒さでした。なかなか寒さの和らぐ気配がありません。インフルエンザ、風邪くれぐれもお気をつけください。